

胸膜炎	三―四ヶ月	六ヶ月	陸軍病院	傷痍軍人療養所入所患者
ソノ他ノ結核	三―六ヶ月	六ヶ月	三―六ヶ月	一年半
肺結核	三―六ヶ月	六ヶ月	三―六ヶ月	一年半

以上、主に昭和十九・二十年における陸軍内地部隊の一般患者、伝染病発生の状況および入院患者の概要について報告した。

※1) (防衛医科大学校公衆衛生学)  
 ※2) (海上自衛隊)

## 永井潜と性教育

江川 義雄

現代は性解放・自由化の時代となり、性をめぐる諸問題は、医学分野のみならず、大きい社会問題になりつつある。

この時期に、明治・大正・昭和の三代にわたり、性医学のパイオニアとして活躍した永井潜の業績にふれ、あわせて日本の現状についても言及したい。

永井潜は一八七六年(明治九年)十一月十四日、竹原市に出生し、十三名の兄弟の次男である。幼児より秀敏であり、九才にして漢学塾・凌明館に入り、神童と評せられた。後に広島県立師範学校附属小学校に転じ、次いで福山市の尋常中学誠之館に進み、その卒業成績優秀であったので、一年間ドイツ語を専修して、一高三部に無試験入学した。医科大学は当時としては東大のみであったが、明治三十五年東大医科を卒業した。卒業後、東大生理学教室に入

局し、大沢謙二教授に師事した。翌年から三年間留学し、主として、ゲッチンゲン大学生理学者の Max Verworn 教授の指導をうけ、また哲学・思想に大きい影響をうけた。

潜は「医学と哲学」「生命論」など次々と名著を発刊する東西古典哲学・思想に通じた医学研究者であり、その美文と格調の高い講義は東大名物であったといわれる。

潜の膨大な作品を概観すると、生命哲学探求に終始している。そのような科学思想や当時日本の置かれた歴史的環境から、潜には民族優生への理想が温められ、「民族衛生」の発刊となり、日本の人口問題を憂慮し、国民優生法を提唱し、国家至上主義的思想への理論的根拠を与えたことになった。

戦後は敗戦による社会の混乱・性道德の頹廢を慷慨して、エレン・ケイの唱える「性は生なり、また聖なり」の信条に共鳴し、性教育に関する著作を次々と発行するに至った。

代表的なものとして、結婚読本・キンゼイ著「人間の性行動・男性篇」翻訳・性教育講話・性教育・世界性学全集監修などがあり、雑誌などへの寄稿を加えれば、多数にの

ぼる。特に晩年、死の床に伏してまで、二時、三時の深更に至るまで、性教育の校正をされ、その発刊をみることもなく逝去されたのである。

その絶筆とも称すべき原稿は廣大医学部医学資料館に保管・展示してある。

潜が青雲の志をもって送ったゲッチンゲンの既往の場所には一九六三年に記念額 (Gedenktafel) が掲げられた。

戦時中、潜の唱えた国民優生の理念は、敗戦後、歴史的必然として、その理論と制度は全く反対のものとして優生保護法の名の下に、昭和二三年に施行されるに至った。それは民族の優生と母性の保護がその骨子となり、今日まで及んでいる。それも本法は毎年国会で政争の具に供され、国民、婦人不在のままの論争であったが、昨年は全国的に、国会内外で、本法十四条の改廢をめぐり大論争を巻き起こしたが、国民与論の前に、無修正のまま、従前通りとなったのである。しかし、現在では、差別問題が大きい社会的・教育的課題となり、優生の概念について、各方面から、とり上げがきびしくなりそうである。

また、教育としての性問題は、昭和二四年の文部省の純

潔教育基本要項の発表以来、目立った進展はみられていないが、民間団体の活動が活発化してきた。

ことに、生殖医学の目覚ましい進歩により、世界における性革命の時代到来と評されただけあって、婦人の妊娠・疾患よりの解放は、人間の性行動を活発化させてきた。

総理府調査「青少年の性行動」昭和四六年度・昭和五六年によれば、現代の日本は次第に、欧米型を指向しつつある。

近代の情報化社会の中で、価値観の多様化は旧い性倫理観を稀薄にさせ、性的秩序や性規範のわくは緩和化の傾向にある。

ヨーロッパ世界の一部では、性の自由化進行に抗し、性哲学への指向が台頭されつつある。この現象は、潜在的宗教的理念にも接近する一步ではあるまいか。

(広島県支部)

## 藤野巖九郎記念館収蔵遺品について

泉 彪之助

昭和五九年七月一日、福井県芦原町に魯迅の仙台医学専門学校時代の恩師藤野巖九郎（以下巖九郎）の記念館が開館した。この記念館には、文書類を始めとして貴重な遺品が収蔵展示されているので紹介したい。

### 1 記念館開館の経緯

昭和二〇年巖九郎の死去後、遺品は雄島村（現三国町）宿（しゅく）の家に保存されていたが、後に次男龍弥氏が一部を横浜の自宅に移した。昭和五八年宿の家は改築される事になり、建物と遺品とが、横浜に保存されていた分を含めて、芦原町に寄贈された。芦原町は、これを基礎として記念館を建設した。

### 2 遺品の内容

宿および横浜の遺品の大部分が寄贈されたため、遺品の内容は多く、日常生活用品、蔵書、文書類などからなる。